

## 小松島市と生活協同組合とくしま生協 高齢者等の見守り協定を締結

市役所で11月11日、「高齢者等の生活状況の見守りに関する協定書」の調印式が執り行われ、濱田市長と生活協同組合とくしま生協の梶原樹理事長が協定を交わしました。

この協定は、とくしま生協が日常業務の宅配を通じて高齢者等の見守り活動に協力し、何らかの異変に気づいた時に市に情報提供することで、高齢者の生活の安全と安心を守るための支援を行うことを目的としています。



協定を締結した濱田市長ととくしま生協の梶原樹理事長

## 笑顔あふれる障がい者体育大会



ボウリングのピンに向かってボールを投げる参加者

徳島県立ひのみね支援学校の体育館で11月5日、三障がい合同（身体・知的・精神）による小松島市障がい者体育大会が開催されました。ボウリングやまり入れなど13競技が行われ、参加者は笑顔の絶えない1日を過ごしていました。

## 阿波遍路道ウォーキング 歴史に思いをめぐらせる



恩山寺道の道標の前で歴史を学ぶ参加者

小松島市で初めて国史跡に指定された恩山寺道・立江寺道などを歩く「阿波遍路道ウォーキング」（徳島県教育委員会主催）が10月29日に開催され、市内外から約40名が参加しました。

小松島港本港地区を出発した参加者は、四国霊場18番札所恩山寺を経て赤石港までの約7kmのコースを歩きながら、案内役の徳島県教育委員会の職員から遍路道の分岐点に建てられた道標（どうひょう）などの文化財について説明を受け、歴史に思いをめぐらせていました。

## 交流深まるかがやきクラブ体育大会



養老の滝競争の様子

第35回かがやきクラブ小松島（老人クラブ）体育大会が10月25日にたぬき広場で開催され、約400名の会員らが参加しました。養老の滝競争など12競技が行われ、参加者は運動を通じて交流を楽しみました。



徳島県鉄鋼協同組合の  
組合員企業従業員が  
率先避難の訓練を実施

徳島県鉄鋼協同組合の「率先避難企業訓練」が11月4日に金磯町で実施され、同組合の組合員企業17社の従業員約150名が、自ら率先して避難行動を起こし、周囲にも避難を促す「率先避難」の訓練に参加しました。

訓練では、南海トラフ巨大地震により津波警報が発令したとの想定で行われ、従業員らは、「津波が来ますので避難してください。」と周辺の企業などに呼びかけながら、津波緊急一時避難場所に指定されている金磯南雨水ポンプ場の屋上へ避難し、避難経路や避難場所などを確認しました。